

株主総会資料の電子提供制度のご案内

●電子提供制度について

株主総会資料の電子提供制度とは、株主総会の開催にあたって、これまで株主の皆様へ書面で送付・提供されている「招集通知」に含まれる株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を、自社のホームページ等のWebサイトに掲載し、当該Webサイトにアクセスするための情報を株主の皆様宛に書面にてお送りする制度です。

●書面交付請求について

2024年3月開催予定の定時株主総会におきまして、これまでと同様の「招集通知」の送付をご希望の場合には、2023年12月31日までに「書面交付請求」の手続きをお願いいたします。

お手続きの詳細につきましては、以下のお問い合わせ先もしくは口座を開設している証券会社等にご連絡ください。
なお、議決権行使書は、これまで通り書面でお送りいたしますので、「書面交付請求」の必要はございません。

書面交付請求に関するお問い合わせ先

みずほ信託銀行 証券代行部 0120-524-324 (土日祝を除く9:00~17:00)

会社概要 (2023年6月30日現在)

会社名	KHネオケム株式会社	本社所在地	東京都中央区日本橋室町2-3-1
設立	2010年12月8日 (前身の協和油化(株)は1966年11月に設立)	資本金	8,855百万円
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造、販売	従業員数	837名(連結従業員数)

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
証券コード	4189	株式事務に関するお問い合わせ窓口	
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
配当基準日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日	電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土日祝を除く9:00~17:00)

KH NeoChem

KHネオケム株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-3-1
TEL 03-3510-3550

※本冊子に記載されている将来に関する記述は、現在までに入手可能な情報に基づく前提や予測等を含んでおり、当社として確約や保証を行うものではありません。これらの情報は、今後の様々なリスクや不確実な要素により大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

UD
FONT

第14期 株主通信

2023年12月期第2四半期まで
2023年1月1日~2023年6月30日

KH NeoChem



トップ メッセージ

株主の皆様には、
日頃よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第14期株主通信をお届けいたします。

代表取締役社長 **高橋理夫**

2023年12月期第2四半期まで(2023年1月1日から2023年6月30日)の事業環境は、新型コロナウイルスの影響が落ち着く一方で、物価高やウクライナ情勢の長期化等による世界経済の成長鈍化懸念など、依然として不透明な状況下で推移しました。

こうした環境のもと、当社グループは、2022年から始まった3か年の第4次中期経営計画において、事業を通じて持続可能な社会に貢献することおよび当社自身が持続的に企業価値を向上させていくことを両立させる「サステナブル経営の推進」に取り組んでおります。

当期における当社グループの連結業績につきましては、大規模定期修繕や生産トラブル等のあった前年同期に比べ、販売数量は回復し、またコスト等の価格転嫁も着実に進めました。一方で、需要が総じて力強さに欠けたことに加え、前期の高コスト在庫の影響を大きく受けたことから、次頁「連結業績ハイライト」の通り、減益となりました。

分野別では、機能性材料において、主力の冷凍機油原料は、販売数量を増やしたものの、中国不動産市場の

低迷が継続したことや、冷凍機油の在庫調整等の影響を受け、当初予想を下回る結果となりました。電子材料は、半導体関連需要が弱含みで推移し、グループ会社の黒金化成(株)を含め、販売数量が減少しました。

下期は、各分野で需要回復が進むと見込んでおりますが、当初想定に比べ需要の伸びに勢いがいいことから、通期業績予想につきまして、売上高および各利益について下方修正いたしました。

なお、2023年度の中間配当金につきましては、前年同期と比べ2円50銭増配となる45円とさせていただきます。

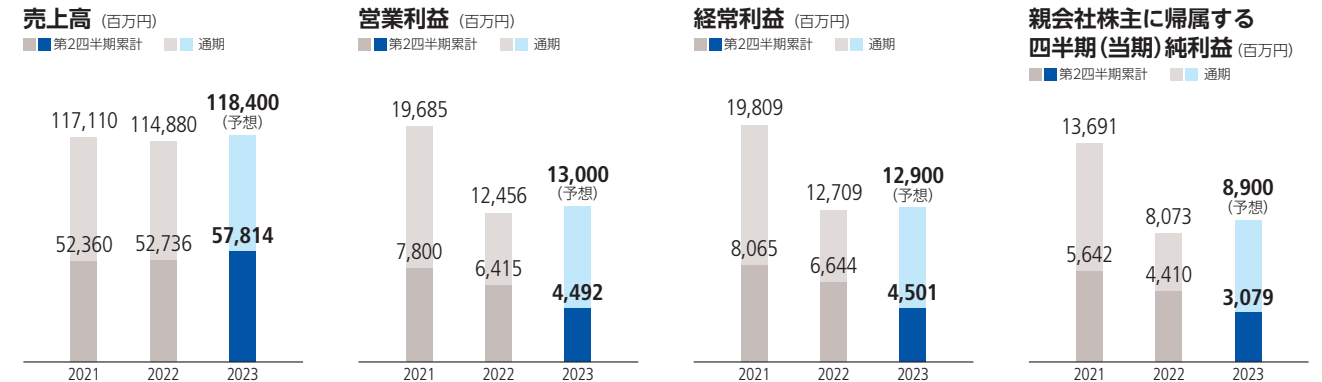
短期的には厳しい需要動向となっておりますが、「安心・安全・信頼」を基盤として市場動向を的確に捉え、「サステナブル経営」をより一層推進することで、持続的な成長を実現してまいります。

株主の皆様には、今後もより一層ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

当第2四半期累計の連結業績ポイント

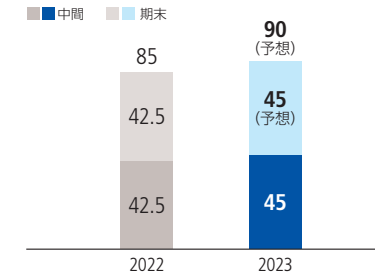
- 2023年第2四半期累計の営業利益は45億円、前年同期比30%の減益
 - ▶ 需要が全体に弱含みで推移、また前期の高コスト在庫が大きく影響
 - ▶ 大規模定期修繕、生産トラブル等のあった前年同期からは販売数量が着実に回復し、価格へのコスト転嫁も進めたがカバーするには至らず
 - ▶ 安全・安定生産体制の強化等、事業基盤の強化は着実に進展
- 通期業績予想は、営業利益を130億円(前期比104.4%)に下方修正
 - ▶ 当初想定に比べ需要の伸びが鈍化していることを織り込む



配当金の状況

1株当たり中間配当金
45円
1株当たり年間配当金(予想)
90円

1株当たり配当金 (円)



当社は、内部留保と今後の成長投資へのバランスを勘案しつつ、継続的かつ安定的な配当を維持することを基本方針としております。

2023年の中間配当金につきましては、1株当たり45円(前年同期比2.5円増配)とさせていただきます。

また、期末配当金は1株当たり45円を予定しており、1株当たりの年間配当金(予想)は90円(前期比5円増配)となります。

右記ウェブサイトにて、最新のIR関係資料をご覧ください。<https://www.khneochem.co.jp/ir/library/>



気候変動問題への対応



当社は、事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに企業価値の向上を図るため、様々な取り組みを行っています。中でも気候変動関連の問題解決はその大きな柱です。

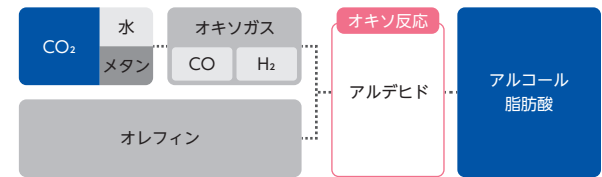
具体的には、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、まずはそのマイルストーンとして2030年にGHG排出量を2017年度比で30%削減することを目指し、取り組んでいます。

項目	取り組み状況
事業	当社主力製品である、低GWP冷媒向け冷凍機油原料の供給を通じたGHG排出量削減への貢献 製品の原料としてCO ₂ を消費
新技術	プラント高度制御システムの導入拡大による省エネ推進 製法転換による省エネ推進 グリーン原料への転換
イノベーション企業連携	コンビナート各社などとの連携を推進

TOPIC!

年間約7万トンのCO₂を原料にして、オキシガスを製造し、当社のコア技術であるオキシ反応(ヒドロホルミル化反応)に使用しています。反応に用いられたCO₂は化学的に安定した製品になるので、再び空気中へ放出されることはありません。オキシ技術は、CO₂の有効な活用方法の一つとして古くから知られていますが、昨今この技術に注目が集まっています。

オキシ反応による製造工程(イメージ)



若手技術者によるカーボンニュートラルワーキンググループ(WG)

カーボンニュートラル実現に向けた活動の一環として、2050年に会社の中核となって活躍する若手技術者で構成するWGを2022年10月に発足し、精力的にディスカッションを行っています。

WGでは、2050年における当社のグランドデザインを思い描き、その実現に向けた技術的なアイデアを出し合っています。異なる部署から選出された技術者が、これまでの常識にとらわれない柔軟な発想を出し合うことで、新たなイノベーションが生まれることを期待しています。



SPORTS NEWS! SPEED SKATING

世界で輝け！ ～KHネオケム スケート部～

当社は、2018年よりショートトラックスピードスケートの菊池 萌水(きくち もえみ)選手と、2022年よりスピードスケートの小坂 凜(こさか りん)選手と所属契約を締結しています。両選手が夢に向かってひたむきに努力を続け、世界の舞台へ挑戦し続けるその姿勢に当社も共感し、全社一丸となって応援・サポートしています。

KHネオケム スケート部とは？

2018年に所属アスリート支援を目的として発足しました。シーズン中は、役職員参加の応援ツアー等を実施しています。

選手紹介



Photo:Afto Sport

きくち もえみ
菊池 萌水 選手 ショートトラック
出身：長野県南佐久郡南相木村
主な戦績：
2014年 ソチオリンピック出場
2021年 全日本ショートトラック
スピードスケート選手権
大会500m、3000mSF 優勝
全日本ショートトラック
スピードスケート
距離別選手権大会 500m 2位



Photo:Afto Sport

こさか りん
小坂 凜 選手 スピードスケート
出身：北海道斜里郡小清水町
主な戦績：
2020年 全日本ジュニア
スピードスケート選手権大会
1500m 2位、1000m 優勝
2021年 全日本スピードスケート
距離別選手権大会
マスタート 優勝
2022年 北京オリンピック 日本代表

スケート部 活動報告会を開催しました

本年4月に、本社・工場において「2022-23年シーズン活動報告会」を開催し、両選手と社員との交流を図りました。

活動報告会では、日々の厳しい練習やトレーニングへの取り組み、大会の結果や今後の目標について、両選手から報告がありました。参加した社員からは、「トップアスリートとして、世界という舞台に挑むお二人に心を動かされた」「自身あるいは会社に自己投影しながら、たくさんの勇気もらった」との声も。

活動報告会の終盤には、選手の名前が印字された応援タオルを掲げ、参加者一同がエールを送ると、両選手からは「皆さんからの応援が心の支えになっている。次のシーズンの活躍を期待してほしい」とコメントがありました。



本社での活動報告会の様子



千葉工場では工場見学も実施(菊池選手(左)、小坂選手(右))

社外取締役による対話活動を展開

当社の社外取締役は、異なる分野で活躍をされており、それぞれの知見や専門性に触れることが役員・社員にとって貴重な機会となり、当社経営に有用であることから、様々な形で対話の機会を設けています。今回は、その活動をご紹介しますとともに、社外取締役からのメッセージをお届けします。

社外取締役による対話活動

土屋取締役には、化学品業界でのビジネス経験を踏まえた講義を行っていただき、事業活動に従事する管理職とも積極的にディスカッションしました。



土屋 淳 取締役

2020年3月に就任。
グローバル企業で培った経営ノウハウと化学分野における高度な技術的知見を有する。

社員の皆さんには「発想」「発信」「発言」を大切にしてほしいと思っています。種々の課題について、柔軟な発想の中身を自身に積極的に問いかけ、それをもとに責任感と熱意をもって業務に取り組み、これを繰り返すことにより理解と信頼感が醸成されることを期待しています。

菊池取締役には、昨今の環境変化を踏まえ、取締役を対象としたガバナンス研修会を実施いただき、近時のガバナンスの課題等を再認識することができました。



菊池 祐司 取締役

2020年3月に就任。
弁護士。証券取引等監視委員会に勤務した経験も持ち、会社法やコーポレート・ガバナンスなどの専門知識を有する。

企業におけるガバナンスは、企業価値を高めるガバナンスでなければなりません。環境は刻々と変化しており、当然、あるべきガバナンスも変わります。取締役会でももちろん社員とも積極的に対話することにより、より良いガバナンスを考え続けていきます。

多様性を尊重した職場づくりに向けて

多様な価値観を持つ人材が活躍することは当社のサステナブルな成長に不可欠です。社員一人ひとりが多様な価値観を認め合い、活躍できる職場づくりを目指し、各種取組みを実施しています。2023年上期には、人材育成を専門分野とする宮入取締役と女性社員によるワークショップを開催しました。



宮入 小夜子 取締役

2019年3月に就任。
コンサルティング会社役員や大学教授としての豊富な経験を持ち、特に人材育成や組織風土改革・エンゲージメント向上等の見識を有する。

気楽にアクティブな女性たちのネットワーク “ラクティ部！”が始動しました

今回のワークショップは、各職場に点在する女性社員が、互いにどんな想いで仕事を続け、やりがいや不安を感じているのか、気楽に話をしてみようという趣旨で実施しました。日頃はメールやオンラインでしか名前を知らなかったという人たちが、それぞれの想いを語り、分かち合うことで、女性管理職のロールモデルが少なくても、共に学び、自ら育つネットワークが社内に広がる機会になっていけばと期待しています。

ラクティ部！の様子

次世代の中核人材候補の女性社員を対象とし、職場環境や将来のキャリアプランについて不安に思うことなど、ざっくばらんに対話を行いました。

部門を横断し、業務やキャリアについて話せる機会として、対象者を広げながら取組みを継続していきます。



右記ウェブサイトにて、その他の情報を含む統合報告書をご覧ください。 <https://www.khneochem.co.jp/sustainability/>

